

特集

うそっ!

これが!?

意外な中毒、 知っておき

一般外来で! OTCも処方薬も!

薬物中毒や薬物依存症は救急外来で診療する機会が多いですが、一般外来でも重要な鑑別疾患です。しかしながら「一般外来にやってくる中毒症や依存症」と聞いて、何を連想するでしょうか? ベンゾジアゼピン依存症や、さまざまな薬剤の副作用、などといった程度ではないでしょうか?

OTC(over the counter)薬剤でも実にさまざまな中毒症状や依存症を呈し、慢性経過で外来を受診するような中毒症状もあります。また、一酸化炭素中毒でも外来を受診することがあります。

本特集では救急のみではなく、一般外来を受診するような、あるいは、してもおかしくないような中毒症について解説するとともに、使用頻度の高い薬剤の中毒症や依存症、また今後処方が増加するであろう薬剤の副作用についても、併せて、その知識とスキルを深めることを目的に企画しました。

企画 | 高岸勝繁

思わぬ依存、 たい副作用

今月の Questions

- Q1 ジフェンヒドラミン中毒の症状は? >>> 132
- Q2 ブロム中毒を疑うきっかけは何ですか? >>> 135
- Q3 市販薬で依存性がある薬剤はどれですか? >>> 140
- Q4 急性カフェイン中毒は、どのような患者で疑えばよいですか? >>> 143
- Q5 アセトアミノフェン過量内服患者で留意することは? >>> 147
- Q6 インジヌーがい薬は、水によるうがいよりも上気道炎予防に効果的ですか? >>> 151
- Q7 エタノール血中濃度やケトン体濃度を迅速に推測する方法はあるでしょうか? >>> 156
- Q8 一酸化炭素中毒を疑う時に、気をつけるポイントは? >>> 163
- Q9 ベンゾジアゼピン系薬剤を毎日複数錠服用している場合、その中止方法は? >>> 169
- Q10 慢性疼痛にオピオイドを使用する際に、まず気をつけることは何ですか? >>> 174
- Q11 オピオイドの急性中毒で注意すべき点は? >>> 178
- Q12 免疫チェックポイント阻害薬使用中の患者で免疫関連有害事象を疑った場合、
どうすればよいですか? >>> 183